

# 関係団体意見交換会・地域意見交換会の結果について

市民参画	実施日時	実施場所	参加等実績
関係団体意見交換会	令和4年8月22日(月) 午後2時から午後3時	那須塩原市役所 本庁201会議室	6団体
地域意見交換会	令和4年9月13日(火) 14日(水) 15日(木)  ※ 各回とも午後7時から1時間程度	三島公民館 ハロープラザ いきいきわあいセンター	29名

# 関係団体意見交換会の意見について

## 【主な意見】

- 移住者の中には、終の棲家として考えて移住してくる方もいるが、お墓をどうするかという話も聞く。結婚・出生だけでなく、亡くなったときのことも考えなければならない。お墓の管理の難しさや宗教離れの中、お墓とデジタル技術の活用など、大胆な取組も必要ではないか。
- 人口減少対策の1つとして、3人目の出産奨励するなどの政策があるといいのではないか。
- 人口減少に伴い今後農業人口の減少や担い手不足が進む見通しであり、中山間地を中心に耕作放棄地の拡大が起きているため、対応が必要であると考えます。
- 那須地域におけるまちづくりに関するアンケートを実施したが、地域に増えてほしいもの、減ってほしいもの、変わらずにいてほしいものについて聞いたところ、増えて欲しいものが「お店、公園」、減ってほしいものが「耕作放棄地、犯罪、空き家」であった。
- 「安全安心なまち」が最も重要で、そこに「ワクワクしたまちづくり」を融合させて、「若い人に魅力的なまちづくり」を進め、移住定住を促進してほしい。
- 「那須地域の雇用を1万人増やす」という取組をしている団体がある。地域企業の企業や飲食店を集め、子供達に職業体験をさせて移住定住の促進や子供たちに魅力的に感じてもらう取組を行っている。

# 市民意見交換会の意見について①

## 【主な意見】

### ○ 基本政策1

#### ● 脱炭素

- 再生可能エネルギーについて、太陽光を念頭に置いていると思うが、那須塩原市は水が豊かであるので水力を活用した発電に取り組んで欲しい。

### ○ 基本政策2

#### ● 災害対策

- 消防団のなり手不足の解消には旧来の考え方からの転換が必要ではないか。行政による関与も必要ではないか。
- 防災について、自助・共助の必要性を意識づけていくことが必要である。

### ○ 基本政策5

#### ● 市民協働

- 市と自治会長とのやりとりは負担感が大きい。紙ではなくグループウェアを導入を検討して欲しい。
- 自治活動の促進については、各自治会の考え方、構成世帯などバラバラであり、そういった現状を踏まえて取組を進めてほしい。

#### ● 市街地の活性化

- 新幹線が停まることは相当の強みであり、軽井沢のようなまちになれば若者も集まると思うので、ぜひ駅周辺に魅力づくりに力を入れてほしい。
- 休みの日に買い物しようとするとお店や活気のある大田原方面に足を運ぶし、そこに若者も集まっている。那須塩原に若い人が集まらない原因は、若い人を呼び寄せる力が足りないのではないか。
- 市の魅力は豊かな自然など（田舎の方）にある。市街地活性化ばかりでなく、在をおいてきぼりにしないまちづくりをしてほしい。
- 駅周辺の活性化とあるが、現状を見ると人が駅に集まって活性化する状況ではない。那須塩原駅周辺は開発の余地があると思うが、その他の駅は対象として適切なのか疑問である。

## 市民意見交換会の意見について②

### 【主な意見】

#### ○ 基本政策7

##### ● 子育て支援・学校教育

- 学校教育の充実について、子どもの安全という視点で、安全教育や道徳教育などの取組を充実させてほしい。
- 若者が戻ってくるには何かしらの特徴や魅力が必要だと思う。子育てしやすいまちという考え方を取り入れてほしい。
- 卒業後に那須塩原市で就職してもらうための奨学金など、若者が住み続けて良かった、一旦学びに出ても戻ってくれるような支援も考えてほしい。

#### ○ 基本政策8

##### ● 新庁舎

- 新庁舎建設について、定期的に進捗状況が分かるようにしてほしい。

##### ● 移住定住

- 新幹線通勤に補助しているが、新幹線通学に補助金を出してもよいのではないか。
- 黒磯はカフェのまちという特徴があるが、転入者がまちづくりに入ってくることは、黒磯、那須塩原の財産である。そういった環境で育った子供が、一度他の土地へ離れても戻ってくることもあるので、重視してほしい。

##### ● 広報

- 市のPRについては、今もSNSなどを用いていると思うが、若者が見るのはそういった媒体なので、イベント開催の発信など、ぜひ強化してほしい。